

平成26年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」検証シート

中本小 学 校

児童数

30

平均値

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	20.78	27.17	30.94	41.61	53.00	8.88	153.28	25.06	57.78
大阪市	16.40	19.12	32.13	38.73	48.11	9.39	148.92	23.02	52.31
全国	16.55	19.56	32.87	41.61	51.67	9.38	151.70	22.90	53.91
女子	17.90	15.00	38.20	37.00	37.90	9.99	129.80	14.30	51.80
大阪市	16.13	17.84	36.73	36.72	36.72	9.65	142.22	14.03	53.52
全国	16.09	18.26	37.21	39.36	40.29	9.64	144.76	13.90	55.01

結果の概要

○ 男子は長座体前屈以外の項目は全国の平均値を上まわっていた。体力合計点は全国平均点より約4ポイントも高く、かなりの高水準である。男子のほとんどが、地域でのスポーツクラブ(サッカー・ソフトボール・空手・ラグビーなど)やスイミングでスポーツに親しんでいる。

1週間の総運動時間が1300分を超える男子児童は11%にも及ぶ。

○ 女子は、握力・長座体前屈・ソフトボール投げは全国平均より約1ポイント上まっていた。それ以外の項目は、1~3ポイント低かった。体力合計点では、大阪市平均よりも約2ポイント低かった。

女子の運動量は個人差が大きく、1週間の総運動量で1400分を超える女子児童が10%、1000分を超える女子児童が10%いる。また、100分未満の女子児童も30%いる。平均値をとると、大阪市の平均値より下回った一因と推測される。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

○ 学期ごとに運動週間を設け、児童が屋外で体を動かすことを奨励してきた。季節に応じた種目を体育の授業で選び、児童にいろいろな運動への出会いの場を設定してきた。

○ 授業においては、一人一人の運動量の増加を意識した授業を行っている。ウォームアップとクールダウンの運動では、筋肉に負荷をかけないようにするとともにストレッチを取り入れた運動を実施するようにしている。

○ 今後の取り組みにあたって、これまでの授業形態や活動を継続するとともに体力増進や柔軟性を促進する運動を授業の導入に組み込むなどして、児童の運動基礎能力の向上を図っていく。

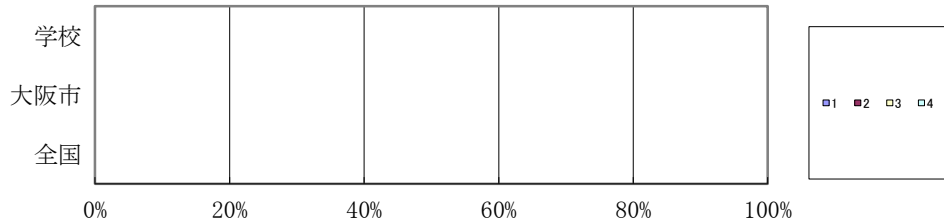
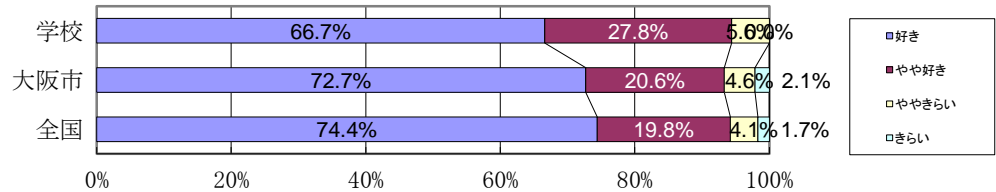
○ いろいろなスポーツを紹介することによって自分にあったスポーツと出会える機会を作り、生涯体育の基礎を作りたい。

運動やスポーツについて（男子）

質問 番号	質問事項
----------	------

1

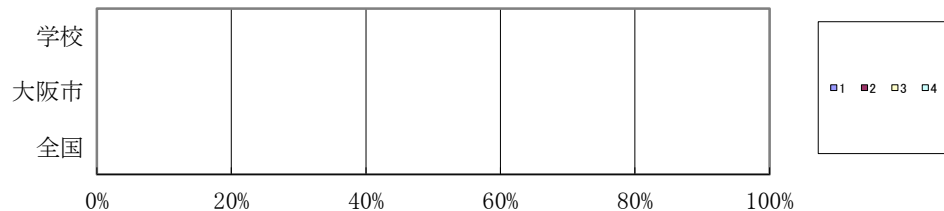
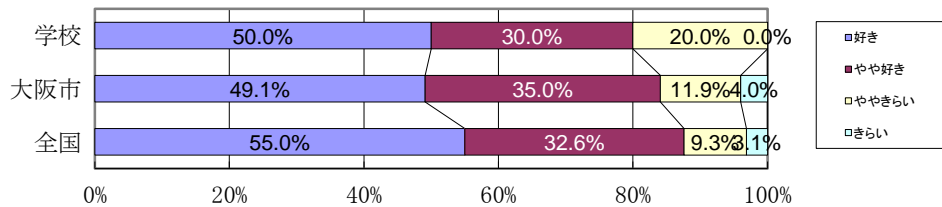
運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか



運動やスポーツについて（女子）

1

運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか



成果と課題

- ・男子は「好き」「やや好き」のポイント割合が大阪市や全国と異なるが両項目の合計ポイントはほぼ同じである。女子は、運動をよくする児童と適度にする児童、全くしない児童の3層に分かれている。
- ・男子、女子とも「ややきらい」「きらい」と答えた児童は、運動能力面や運動量の面でもポイントが低い。これらの児童に運動への関心や意欲を高めることが課題である。

今後の取組

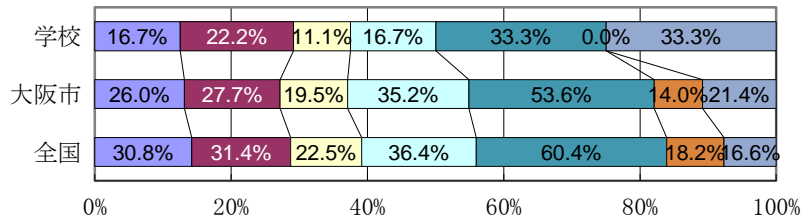
- ・体育科の学習や休み時間を通して、成就感や友だちとの関わりの中から、運動の楽しさを味わわせ、運動やスポーツに対して「好き」「楽しい」と思わせることができるようにする。
- ・自分の得意なスポーツとの出会いを模索し、それを核として、色々なスポーツに挑戦させていく。

学校の体育の授業以外での運動やスポーツについて（男子）

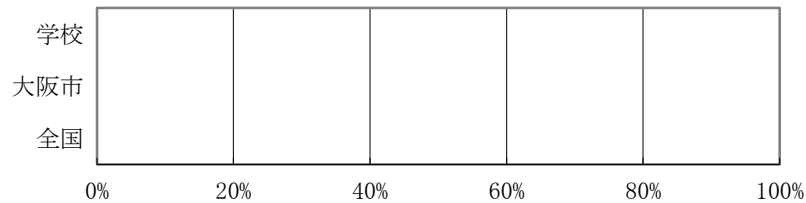
質問番号 質問事項

11

オリンピック・パラリンピックを日本でやることになりましたが、あなたの今の気持ちにあてはまるものをすべて選んでください。



- 運動やスポーツに関心が高まってきた
- 依りんピック・パラリンピックの種目を自分も行ってみたい
- オリンピック・パラリンピックの内容・歴史を知りたい
- 自分も選手として出場してみたい
- 試合を見に行ってみたい
- 大会開催の手伝いやボランティアをしてみたい
- 分からない

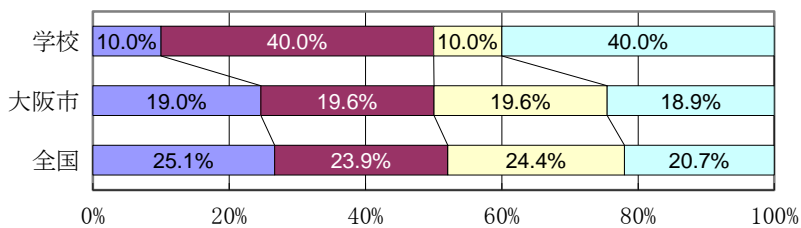


- 1
- 2
- 3
- 4

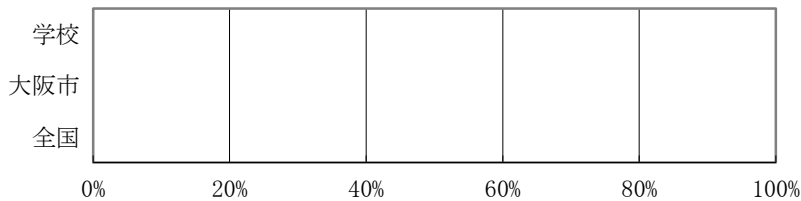
学校の体育の授業以外での運動やスポーツについて（女子）

11

オリンピック・パラリンピックを日本でやることになりましたが、あなたの今の気持ちにあてはまるものをすべて選んでください。



- 運動やスポーツに関心が高まってきた
- 依りんピック・パラリンピックの種目を自分も行ってみたい
- オリンピック・パラリンピックの内容・歴史を知りたい
- 自分も選手として出場してみたい



- 1
- 2
- 3
- 4

成果と課題

・スポーツに興味はあるものの、オリンピック・パラリンピックに対しては「分からない」と感じている児童が、男子・女子とも多い。自分たちがしている種目には、関心があるが他の競技にはあまり興味や関心を示していない。

今後の取組

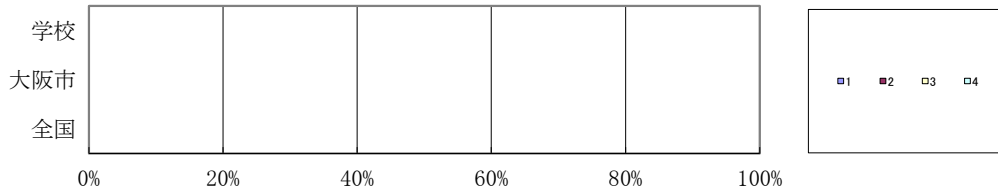
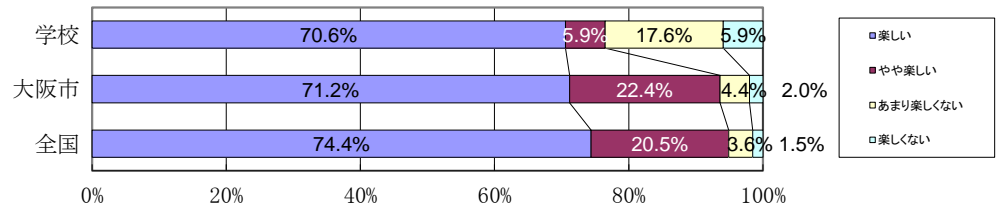
・体育科の授業だけでなく、世界・社会の情勢やスポーツに関する情報に触れさせることで、様々なスポーツ大会について、興味・関心を高められるようにしたい。

体育の授業について（男子）

質問番号 質問事項

12

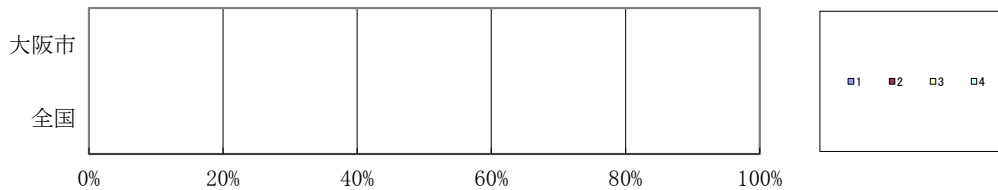
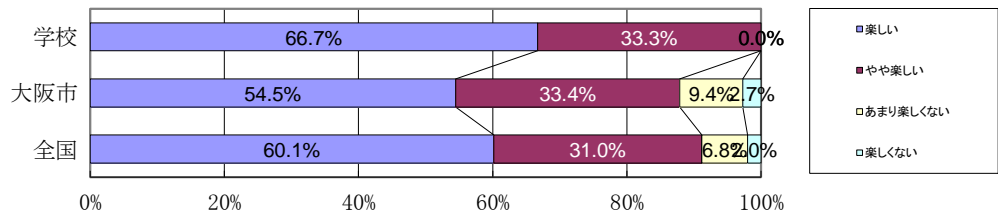
体育の授業は楽しいですか。



体育の授業について（女子）

12

体育の授業は楽しいですか。



成果と課題

・体育科の学習や休み時間、地域のスポーツクラブへの関心などにより、女子はほぼ全員、体育の授業を楽しく感じている。しかし、男子は「好き」「嫌い」の二極化が見られる。（1週間の運動時間にも二極化が見られる。）

今後の取組

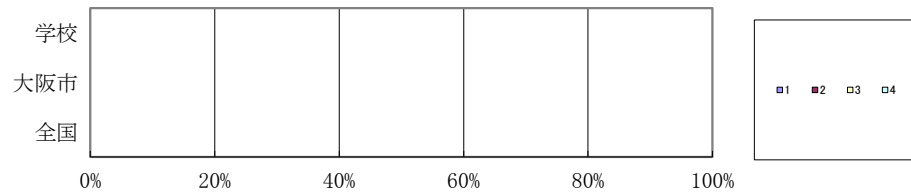
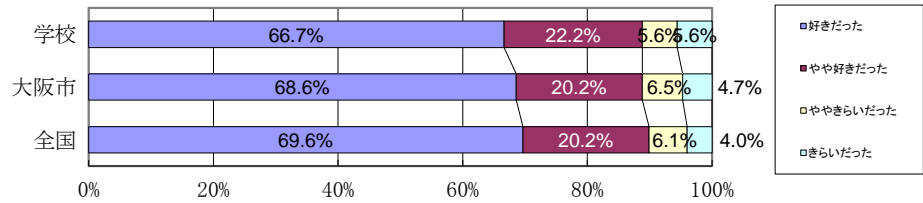
・女子は「好き」と答えているものの、体カテストの結果は府・全国を下回るものが多い。体を動かすことの楽しさを感じることで、習慣化を図れるよう、取り組んでいく。

小学校入学前や現在のことについて（男子）

質問番号 質問事項

23

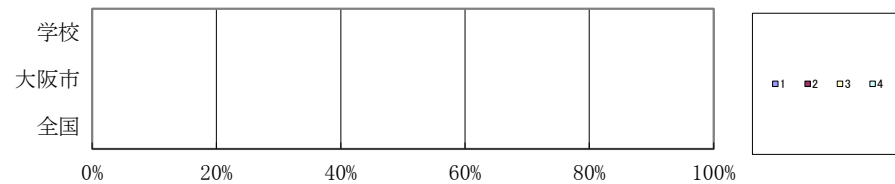
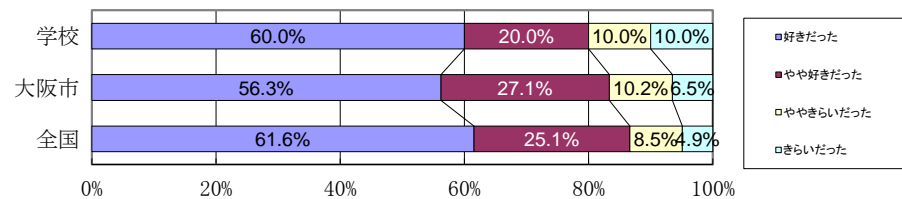
小学校入学前は、体を動かす遊びが好きでしたか。



小学校入学前や現在のことについて（女子）

23

小学校入学前は、体を動かす遊びが好きでしたか。



成果と課題

・男子は市、全国とそれほど変わらない結果であるが、女子は、就学前より体を動かす遊びに対して「やや嫌い」「嫌い」と思っている子が多かった。各人の生活習慣が幼少期から固定され、大きく変化させる動機づけが必要である。

今後の取組

・男子は、就学前から比べると、体を動かすことに対して「嫌い」と感じるようになってきた児童が増えてきている。体格、環境の問題もあるが、引き続き様々な場面を通して、体を動かすことの楽しさを伝えられるようにしていく。